

食と下水道の連携

下水汚泥を堆肥化して有効利用

和歌山県下処理場から発生する汚泥を有効利用する為、堆肥を製造し環境に配慮した循環型農業を実施。

安心・安全な農業で、にんにく・トマト・葉菜類等を栽培。

にんにくについては、6次化産業を目指し、加工品を製造・販売。

堆肥化の流れ

下水処理場で発生した汚泥は堆肥化施設に運搬され、堆肥に。

完成した堆肥を農地に利用し、作物を栽培。

下水汚泥には、肥効成分や微量元素が含まれているだけでなく、有機質に富んでいることから、

農地に利用することで、土壌の有機質が増加し、土壌の物理性や生物性の改善が図られ、

ひいては、地力の増進につながるため、土壌改良材としても有効な働きをします。

